



気持ちよく活動するための大切なポイント

必ず読んでね！

① あいさつをしよう

利用者の方や職員さん、ほかのボランティアの人にも元気にあいさつしましょう。はじめに自己紹介ができると、ぐっと仲良くなれます。

② おしゃべりはほどほどに

感染症を防ぐためにもボランティア同士でのおしゃべりは必要な時だけにしましょう。

③ 指示をしっかりと聞こう

活動中は、受入れ先の話やルールをしっかりと聞いて、そのとおりに行動しましょう。

④ 約束を守ろう

活動中は、施設の話やルールをしっかりと聞いて、そのとおりに行動しましょう。遅刻・早退や参加できない場合は、必ず受入れ先に事前に連絡しましょう。

⑤ 体調に気をつけよう

活動中は、体調管理がとても大切です。もし、風邪っぽいなど感じたら、無理をせず、まず受入れ先に連絡して指示を聞きましょう。



始める前のあなたに伝えたいこと ～ ふくしのココロ ～

🦋 福祉ボランティアって、どんな気持ちですか？

福祉ボランティアで大切なのは、「共感」や「自分のこととして考える気持ち（当事者性）」です。

「大変そうだから助けてあげる」「かわいそうだから手伝う」—— そんな“同情”の気持ちではなく、「自分にできることはないかな？」と考えて行動する、“共感”の気持ちを大切にしてほしいと思います。

はじめはちょっと難しく感じるかもしれませんが、でも「共感」って、相手の気持ちや立場を想像することなんです。

「こんなとき、自分だったらどう思うかな？」と考えることで、いろいろな立場や見方があることに気づきます。

そうして、みんなで支え合って生きていこうという力が育ちます。

「福祉」って、特別な誰かのためだけのものじゃありません。

心や体が不自由な人のことだけでなく、自分自身をふくめた、みんなの暮らしのしあわせを考えることなんです。

「困っている人を排除しない」「無関心でない」「いろいろな人がいる社会を受け入れ合う」…

そんなやさしい社会をみんなでつくっていくことが、福祉なんです。

たとえば、あなたの身近にいる人たちのことを考えてみてください。

あなたの家族や友だち 一人で暮らすお年寄り 小さな子どもがいるお父さん・お母さん

忙しい仕事の中でたくさんの人と関わる人 病院や施設で働く人、入院している人 など…

みんな、それぞれの思いを抱えて毎日を生きています。

あなたのやさしさが広がることは、きっと、やさしいまちづくりにつながります。

社会はすぐには変えられないかもしれませんが、でも、少しずつ。できるだけ。できることから、一歩ずつ。

🦋 ボランティア体験が終わったら…

あなたが感じたこと・考えたことを、ぜひ聞かせてください。あなたの一歩が、誰かの力になります😊